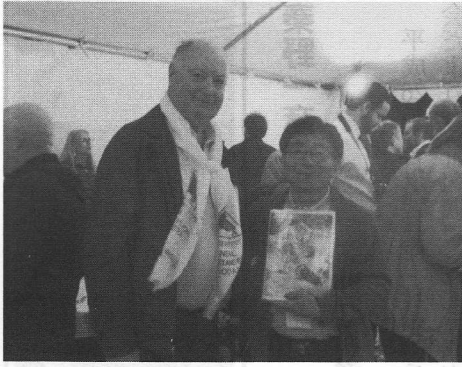


中村保名誉会員、UIA A名誉会員となる

10月18日、米国アリゾナ州フラグ
スタッフUIAA総会の報告

小野寺齊

すでにご承知のとおり中村保氏は本会の名誉会員であるばかりでなく、アルパインクラブをはじめ欧米の主な山岳会の名誉会員であり、2008年には英国王立地学協会からバスクメダルも授与されている。これに先立ち2007年には、UIAA(国際山岳連盟)から世界の登山界に貢献したということで表彰もされているが、今回は名誉会員として推薦する案が総会にて採択され、満場一致で可決された。



ビル・パトナム氏と筆者。中村氏が来年出版予定の本とともに

例年、UIAA総会は理事会を

同時開催として10月に行なわれる。

本年はアリゾナ州フラグスタッフ

にて開催された。筆者は日本山岳

協会の神崎会長が国体出席のため、

代わりに代表として総会に出席し

た。中村氏の名誉会員への推薦は

アメリカ山岳会の元会長で、UI

AAの元副会長であるビル・パト

ナム氏と、ネパール山岳協会の元・

現会長であるアンツェリン氏の事

前の提案である。今回は総会議題

の一つとして中村氏が名誉会員と

して妥当かどうかの採択・議決を

行なったが、その報告である。総

会全体の報告は「登山月報548

号」(日山協発行)を参照されたい。

報告に先立ち、フラグスタッフと

日本との関係を簡単に紹介してお

きたい。パーシバル・ローエルは19世

紀にボストンに生まれ、1894

年にここフラグスタッフにローエル

天文台を創設、火星人の存在を予

言、冥王星の存在を予知したこと

でその名が知られている。この天

文台創設以前の10年間は日本に滞

在、有名な所では能登半島や北ア

ルプスにまで足を延ばしており、

能登半島旅行記もある。

さて、前述のパトナム氏である

が、正式にはウイリアム(ビル)・ローエル・パトナムと言ひ、パーシバルの甥の息子にあたり、1992年にUIAA総会で松本に來た折にお嬢さんや丹部氏とともに能登半島を訪れている。

このような縁もあり、著者は総

会においてパトナム氏、アンツェ

リン氏とともに紹介され、お二人

の後にパワーポイントを使用して

中村氏の業績を改めて発表させて

いただく機会を得た。この名誉会

員については、2011年総会に

おいて投票総数の90%を確保しな

くてはならないと決定された。そ

の直後に名誉会員に推薦された方

が、評決時に89%(筆者の計算)で

落選してしまつたのである。翌2

012年、同じ方が自国の多くの

役員と出席、90%を75%に動議し、

その案が可決され、結果として名

誉会員に決定した。2013年は

該当者がおらず、本年の中村氏の

推薦となつたわけである。

今回の議決にあたり、議長が賛

成票を見て大多数と発表、数は数

えなかつたが満場一致と筆者は解

釈している。日本人では斎藤一男

氏に続いて2人目であるが、貢献

分野は大きく異なると思われる。

中村氏は「ヒマラヤの東」に代表されるように多くの業績があり、敢えて述べるまでもなく、国内外の評価はすでに知られたところである。氏の評価が海外からの逆輸入であるかどうかはさておき、今回の授賞も含めて、国とか組織に無関係に、その人の実績で判断される世界が数多くあるということはすでに周知されてきている。これからの多くの、特に若い人の発展を望みたいし、その芽も出てきているように思う。

(公益社団法人・日本山岳協会常務理事、JAC会員番号11110)